

平成28年度ファミリーソーシャルワーク研修会 開催要綱

1. 趣旨

子どもと子育てをめぐる環境が目まぐるしく変化するなか、社会的養護を必要とする子どもたちの健やかな成長をはかるため、子どもや子育て家庭に対する専門的な支援が強く求められています。

また、昨年5月に成立した改正児童福祉法では、子どもを権利の主体として明確に位置づけるとともに、より家庭に近い環境における養育の推進がうたわれるなど、家族や里親を支援するファミリーソーシャルワークの役割はますます重要となっています。

本研修会は、こうした状況を踏まえ、児童福祉施設で家族支援に携わる職員等に求められる役割等について研修し、その専門性の向上を図ることを目的として開催します。

2. 主催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

3. 共催

全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会

4. 後援（予定）

全国情緒障害児短期治療施設協議会、全国児童自立支援施設協議会

全国自立援助ホーム協議会、全国児童家庭支援センター協議会、全国里親会

5. 期日

平成29年2月9日（木）～10日（金）

6. 会場

TOC有明 「コンベンションホール」

〒135-0063 東京都江東区有明 3-5-7 TOC有明4階

TEL.03-3494-2177

7. 参加対象

家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、母子支援員、少年指導員、
家族（保護者）支援に携わる児童福祉施設職員、関係機関職員、里親 等

8. 参加費

11,000円（名刺交換会費は含まず）

9. 定員

400名

10. 日程・プログラム

①全体日程

〔2月9日（木）〕

12:00～13:00	受付
13:00～13:10	開会
13:10～14:40 (90分)	基調講義 「これからの社会的養護とファミリーソーシャルワークの役割」 日本女子大学人間社会学部 教授 林 浩康 氏
14:40～15:00	休憩
15:00～17:30 (150分)	シンポジウム 「ファミリーソーシャルワーク実践の現状と課題」 (シンポジスト) 希望館八幡の家 処遇統括次長 赤池 裕 氏 衆善会乳児院 家庭支援相談専門員 後藤登志枝 氏 母子生活支援施設 東さくら園 少年指導員 吉村 敏幸 氏 児童家庭支援センター 一陽 センター長 橋本 達昌 氏 (コーディネーター) 日本女子大学人間社会学部 教授 林 浩康 氏
17:45～19:15	名刺交換会（希望者のみ） ※次ページ参照

〔2月10日（金）〕

09:30～12:00	【テーマ別分科会（午前）】
12:00～13:00	休憩
13:00～15:00	【テーマ別分科会（午後）】

第1分科会	「ファミリーソーシャルワークの基礎と役割」 ルーテル学院大学 教授 福島喜代子 氏
第2分科会	「子どもを中心とした里親委託のために ～里親とのチームワークの視点から～」 特定非営利活動法人キアセット ディレクター 渡邊 守 氏
第3分科会	「家族を支援するためのアセスメント」 白梅学園大学 教授 長谷川俊雄 氏
第4分科会	「支援を要する妊婦に対する妊娠期からの支援」 大阪府立母子保健総合医療センター母子保健情報センター長 佐藤拓代 氏
第5分科会	「家庭訪問から家族をとらえるポイントと留意点」 子どもの虹情報研修センター 研究部長 川松 亮 氏

②各分科会概要（予定）

第1分科会	「ファミリーソーシャルワークの基礎と役割」 ○ファミリーソーシャルワーク（F S W）の初任者や、基礎を学びたい方を対象とした分科会です。 ○F S Wに関する基礎知識や考え方、実践にあたっての姿勢など、また、F S Wの専門職に求められる役割等を学んでいただきます。
第2分科会	「子どもを中心とした里親委託のために ～里親とのチームワークの視点から～」 ○里親支援や里親との連携に携わる方を対象とした分科会です。 ○関係者の良好なチームワークによる里親委託の進め方等について、ポイントや必要な取組み等を学んでいただきます。
第3分科会	「家族を支援するためのアセスメント」 ○家族支援に係るアセスメントについて、その実施方法等を学ぶことを目的とした分科会です。 ○家族のアセスメントを的確に実施するための視点や方法等について、演習や講義を通じて学んでいただきます。
第4分科会	「支援を要する妊婦に対する妊娠期からの支援」 ○望まない妊娠や経済的問題など、様々な課題を抱えた妊婦について、妊娠期からの支援のあり方等を学ぶことを目的とした分科会です。 ○支援にあたっての多職種・多機関との連携や、児童虐待への早期対応の視点なども踏まえて学んでいただきます。
第5分科会	「家庭訪問から家族を捉えるポイントと留意点」 ○ファミリーソーシャルワークを展開するにあたっての「家庭訪問」について、ポイントや留意点を学ぶことを目的とした分科会です。 ○家庭訪問で家族像を的確に捉える際のポイントや、家庭訪問での気づきを支援に活かすための留意点や工夫、他機関との連携等について学んでいただきます。

③名刺交換会について

- 名刺交換会は、希望者のみご参加いただきます。（別途参加費を頂戴します）
- 会場には、簡単なお食事・お飲み物をご用意いたします（立食形式）。
- 参加者は、各自「名刺」をお持ちください。
（名刺をお持ちでない方は、名刺大の白紙を会場にご用意いたします。）

1 1. 申込方法

- (1) 同封の「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、名鉄観光サービス(株)へお申込みください。参加費は後日、名鉄観光サービス(株)よりご請求申しあげます。
- (2) ご送金いただいた参加費は、ご返金いたしかねますので、ご了承ください。
（後日、研修会資料をご送付申しあげます）

平成 28 年度ファミリーソーシャルワーク研修会 参加・名刺交換会・昼食・宿泊のご案内

期 日 平成 29 年 2 月 9 日（木）・10 日（金）

参加費 11,000 円（参加者 1 名につき）

宿泊のご案内（料金は朝食付、税金・サービス料を含むお一人様 1 泊あたりの料金です）

宿泊施設	申込記号	宿泊料金(1泊あたり) 朝食付・税込のお一人様料金	会場からの所要時間／最寄駅
ハートンホテル東品川	A	シングル 12,500 円	(会場から) りんかい線利用にて約 20 分 (最寄駅) りんかい線「品川シーサイド駅」徒歩 3 分
ホテルサンルート 品川シーサイド	B	シングル 12,800 円	(会場から) りんかい線利用にて約 20 分 (最寄駅) りんかい線「品川シーサイド駅」徒歩 3 分
アジュール竹芝	C	シングル 13,000 円	(会場から) ゆりかもめ利用にて約 30 分 (最寄駅) ゆりかもめ「竹芝駅」徒歩 3 分
銀座キャピタルホテル (本館)	D	シングル 10,800 円	(会場から) ゆりかもめおよび地下鉄有楽町線利用にて約 30 分 (最寄駅) 地下鉄有楽町線「新富町駅」徒歩 3 分

*宿泊手配をご希望の場合は別紙申込書にてお申込みください。ご希望は第三希望までご記入をお願いします。

*お部屋数に限りがございますので先着順での受付とさせていただきます。満室となりました場合は他の宿泊施設にてご手配させていただきます場合がございますことを予めご了承ください。

名刺交換会のご案内

研修初日に名刺交換会を開催します。参加をご希望の方は申込書にてお申込みください。
(軽食とお飲み物をご用意いたします(立食))

2 月 9 日(木) 17:45～19:15 お一人様…4,500 円

昼食手配のご案内

研修 2 日目の昼食手配を承ります。ご希望の方は申込書にてお申込みください。

2 月 10 日(金) 昼食休憩時 お一人様…1,250 円(お茶付・税込)

申込・送金方法について

- ① 申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにて名鉄観光サービス(株)新霞が関支店までお申込みください。
- ② 参加のみ申込(宿泊、名刺交換会、昼食申込をされない)の場合でも、申込書の送付が必要です。
- ③ 申込締切日以降、参加券及び振込依頼書を郵送させていただきますので、到着後振込依頼書記載の口座に費用をご送金ください。

申込締切日 **平成 29 年 1 月 25 日(水)** ただし定員(400 名)に達し次第、締切となります。

申込後の変更・取消について

- ・変更・取消が発生した場合は、申込時の申込書を変更箇所がわかるように訂正のうえ、FAXにて再度名鉄観光サービス(株)新霞が関支店までお送りください。
- ・参加費送金後の取消および当日欠席の場合は、資料の送付をもって参加に代えさせていただきます。研修会終了後参加券を事務局にお送りください。
- ・その他の取消につきましては、取消日により下記の取消料を申し受けます。ご了承ください。

取消日	14-8 日前	7-2 日前	前日	当日 12:00 まで	当日 12:00 以降 および無連絡
宿泊	20%	30%	40%	50%	100%
名刺交換会	2/3 まで無料。2/4 以降 100%				
昼食	2/1 まで無料。2/2 以降 100%				

※受付時間外の変更、取消のご連絡は、翌営業日の受付扱いとなります。ご了承ください。

申込および問合せ

名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店 担当 波多野、山辺
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルLB階
電話:03-3595-1121 FAX:03-3595-1119
受付時間 平日 9:30-17:30 土日祝日休業